

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○大規模水害・土砂災害に備えた治水対策の推進

「流域治水」の考え方にに基づき、石狩川、千歳川等の洪水氾濫を未然に防ぐための河川改修、北村遊水地の整備や、豊平川の土砂災害等を軽減する砂防施設の整備を推進。また、幾春別川総合開発事業のうち新桂沢ダムについては、試験湛水を実施。雨竜川ダム再生事業は建設段階へ移行し、早期完成に向けて事業を推進します。



【北村遊水地の整備】



【幾春別川総合開発事業(新桂沢ダム)】



【雨竜川ダム再生事業(雨竜第2ダム)】

【今年度の実施(完了)状況】

- 石狩川および千歳川ほか支川の河川改修を促進。
- 千歳川流域においては、令和5年8月「特定都市河川」へ指定し、流域のあらゆる関係者と連携して流域治水の実効性を推進。
- 北村遊水地において、周囲堤・囲ぎよう堤などの遊水地整備を推進。
- 土砂災害等の軽減を図るため、南の沢川・オカバルシ川・簾舞川において、引き続き、砂防施設の整備を推進。
- 雨竜川ダム再生事業(雨竜第1ダム及び第2ダム)の建設段階へ移行。
- 新桂沢ダムの試験湛水の実施及び三笠ぽんべつダムの建設事業を推進。
- 空知川幾寅地区において、平常時の利活用と災害時の水防活動の拠点となるMIZBEステーションについて北海道初の登録。

新桂沢ダム竣工(幾春別川総合開発事業)

令和6年6月9日、札幌開発建設部では、新桂沢ダムの完成を迎え、これまで事業にご協力いただいた関係者の皆様に感謝するとともに、地域の発展を祈念して「竣工式」を開催しました。

- 日 時：令和6年6月9日（日）11:00～12:00
- 場 所：三笠市民会館（北海道三笠市幸町13）
- 出席者：約200名



新桂沢ダムの説明を受ける斉藤大臣



直轄初の同軸かさ上げをした新桂沢ダム



くす玉開披

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

○災害時の救援や緊急物資輸送を支える道路交通ネットワークの整備

災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築・機能強化として、道路交通の多重性や代替性の確保を図るため、高規格道路や並行する一般国道等の整備、橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策、法面・盛土の土砂災害防止対策を推進します。

橋の流出防止対策として、橋台周りを保護する護岸を整備し、災害に強い道路交通ネットワークの構築・機能強化を図ります。



【道路構造物の流失防止対策(橋台の護岸整備)】

土砂災害の危険性がある箇所に対する、法面对策の実施により災害に強い道路交通ネットワークの構築・機能強化を図っています。



【土砂災害防止対策(国道231号 斜面对策の整備)】

[今年度の実施(完了)状況]

- 国道231号石狩市において災害防除工事(斜面对策など)を実施。
- また、橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策の検討に着手するなど、道路の防災・減災対策を推進。